

教育 かしま

第 10 号

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進していくための情報を掲載していきます。

発行日
平成 22 年 7 月 15 日
発 行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 教育総務課
Tel 0299-82-2911 (内線 533)

鹿嶋市の小学校英語活動

▼ 英語の歌を歌い、ことばや音を学習



▲ 英語を使ったコミュニケーションを体験

教育委員会では、国際化に対応できる人材を育てるため、言語発達が著しい小学校段階から効果的な英語によるコミュニケーション能力の育成と異文化理解を目的に、平成 18 年度に「鹿嶋英語教育特区」を申請し、その後、「教育課程特例校」の認定を受け、「英語活動」に力を入れています。

コミュニケーション能力の育成を目的としているため、ゲームや活動をとおして、各学校で子ども達の興味・関心を高める授業を展開しています。今回は、6 月 23 日（金）に鹿島小学校で行われた英語活動についてご紹介します。

低学年の授業では、カードを使った授業をしています。カードに書かれた絵や文字を、英語で答えるというゲーム形式の内容で、子ども達は楽しそうに授業を体験していました。また、「レフト（左） アンド ライト（右） ♪ フォワード（前） アンド バック（後） ♪」のリズムに合わせて歌いながらダンスを踊っていました。身体を動かしながら、英語のことばや音を身につけています。

高学年の授業でも、カードを使った授業を中心に、英語でのコミュニケーションを行っています。様々な英単語のカードを使い、簡単な英語により表現を身につけています。また、NLT (Native Language Teacher : 母国語指導助手) の手本を元にして自分の好きなスポーツ・食べ物・飲み物・動物を言ったり、自分の耳を頼りに聞き取った英語を和訳するなど、子ども達は英語に慣れ親しんでいます。今回は NLT の、ピアノの伴奏にあわせて英語の歌を歌いました。

地域に根差した 特色ある教育活動

1 第一幼稚園

◎「自立心」「社会性」を育む地域交流

地域の特性を生かし、「自立心」や「社会性」を育む活動をたくさん取り入れています。年長組の中央図書館見学では、絵本コーナーでたくさんの絵本に囲まれ夢を膨らませていました。年少組は、地域の「ふれあい公園」で自然を満喫しました。また、「サッカー教室」を年3回実施しており、昨年2月は全日本代表選手が飛び入りで参加し、子どもも大人も大喜びでした。今年は、10月にクラブハウスで「親子サッカー教室」を予定しており、楽しみにしています。



▲「絵本がいっぱい！」市立中央図書館で

◎「いのち」の不思議や大切さに気付く飼育・栽培活動

限られたスペースを工夫して飼育や栽培活動をしています。「アズマヒキガエル」「トノサマガエル」「カナヘビ」「ニホントカゲ」「シロコブゾウムシ」等、今ではみんな子ども達のお友だちです。「カブトムシ」の幼虫もさなぎになって、暑い夏をじっと待っています。セキセイインコの雛も2羽かえり、グッピーの赤ちゃんも順調に成長しています。6月はジャガイモを収穫。カレーやフライドポテトにしておいしくいただきました。キュウリ、ナス、トマトなどの夏野菜も実を付け始めました。今年は「稲作」にも挑戦中です。子ども達はきっと「いのち」の大切さを感じてくれていると思います。



▲ ゴミひろい

は何よりも、ゴミを捨てないことが大切であることを体験をとおして学んでほしいと思います。

◎シニアクラブとの交流

年2回の地元のシニアクラブとの交流は6年目を迎えました。1回目は7月に行われ、七夕飾りを一緒に作ったり、子ども達がシニアの皆さんの肩をたたいてあげたりしています。子ども達は、シニアの皆さんに優しく話しかけていただき親近感や安心感をもち、肩たたきを喜んでいただくことにより満足感や充実感を味わっています。2回目は、10月に園のホールで大型紙芝居や、各クラスで昔遊びを教えていただいたりなどして楽しい一時を過ごします。子ども達は敬意を抱きながら交流を深め、お別れの時には全員が、「また来てね」と言って別れを惜しみます。

2

第五幼稚園

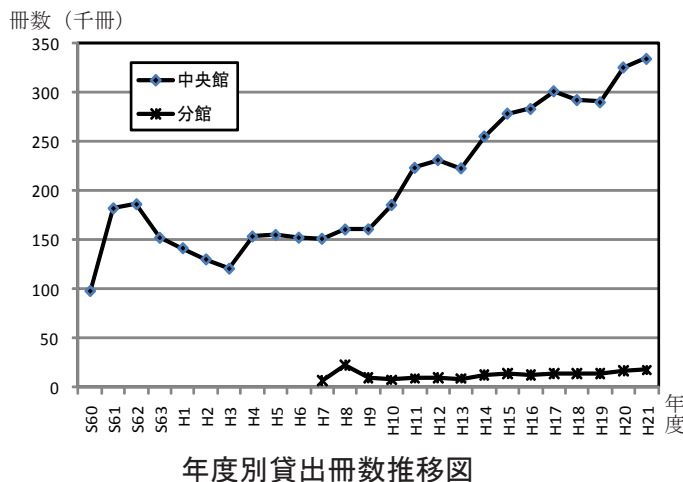
◎ゴミひろい

地域の一員として、園児が近くの公会堂や園周辺の「ゴミひろい」を始めて5年目になります。年に3～5回、「幼稚園の近くをきれいにしよう」を合言葉に、「ゴミを捨てちゃいけないんだよね」などと口々に話しながら拾っています。最近では、園外保育などでもゴミを拾う子どもが増えています。自分達の住んでいる地域を美しく保つために

鹿嶋市立中央図書館

◎市立中央図書館貸出冊数の変遷

市の図書館は、昭和 60 年 10 月に鹿嶋町立中央図書館として開館。平成 7 年 9 月 1 日に鹿嶋町と大野村が合併して鹿嶋市誕生により、鹿嶋市立中央図書館となりました。平成 8 年 1 月には、大野分館を現在の大野まちづくりセンター内に開館して現在に至っています。今号では、年度別貸出冊数（雑誌・A V 資料含む）についてお知らせします。

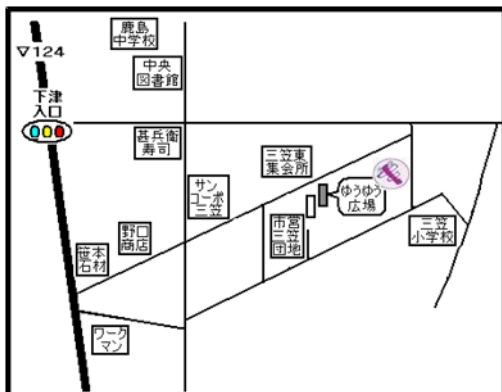


年度別貸出冊数表

	中央館	大野分館	全館(合計)
昭和60年度	97,756	-	97,756
昭和61年度	182,179	-	182,179
昭和62年度	186,385	-	186,385
昭和63年度	152,112	-	152,112
平成元年度	141,476	-	141,476
平成2年度	130,077	-	130,077
平成3年度	120,591	-	120,591
平成4年度	153,463	-	153,463
平成5年度	154,970	-	154,970
平成6年度	152,264	-	152,264
平成7年度	151,145	7,012	158,157
平成8年度	160,615	22,627	183,242
平成9年度	160,803	9,621	170,424
平成10年度	185,577	7,830	193,407
平成11年度	223,584	9,159	232,743
平成12年度	231,505	9,518	241,023
平成13年度	223,040	8,983	232,023
平成14年度	255,630	12,349	267,979
平成15年度	278,936	14,106	293,042
平成16年度	283,695	12,906	296,601
平成17年度	301,724	13,587	315,311
平成18年度	292,765	14,095	306,860
平成19年度	290,497	14,202	304,699
平成20年度	326,079	17,183	343,262
平成21年度	334,829	17,749	353,778

適応指導教室「ゆうゆう広場」

悩んでいることを相談しよう！



- ◎秘密は守ります。
- ◎相談は無料です。
- ◎相談者の心に寄り添います。
- ◎悩みの解決に向けて一緒に考えます。

◆対象

- * 小学校 1 年生 ～ 中学校 3 年生
- * 心因的な問題で、学校に行きたくても行けない児童・生徒を対象とします。
- * その他の問題で通級を希望する場合、まず電話による相談を実施しています。

◆開設日

- * 曜日：月曜日～金曜日（祝休）
- * 時間：AM9:30 ～ PM4:00
- ※電話相談の受け付けは AM10:00 ～ PM3:30
- ※平日の相談が難しい場合は、毎月第 1 土曜日（予約制）にまちづくり市民センターで相談を受けることができます。

◆問合せ先 鹿嶋市適応指導教室「ゆうゆう広場」

鹿嶋市宮中 2068-1
TEL:0299-82-3140

剣聖塚原ト伝の幻影を追いかけて！～塚原館跡の発掘調査～

郷土の英雄で戦国時代の剣聖塚原ト伝は、武道の発祥の地である鹿島に伝わる鹿島の剣の奥義を伝えるべく、諸国を巡る武者修行の旅に明け暮れました。戦国の世にあって、「剣は人を殺（あや）める道具にあらず、人を活かす道なり」と剣の道をとおして平和な世の中になることを願い、自分の目にかなう人間たる城主を訪ねてたと考えられています。鹿嶋市では塚原ト伝の偉業を称え、多くの人々に知ってもらうための全国キャンペーンを展開中で、塚原館跡の発掘調査もこうした事業の一環で実施されたものです。

塚原館跡は北浦に面した標高約 36 m の平坦な台地上に構築された平山城※です。昭和 47 年頃、当時の町史編纂委員のメンバーが塚原城の調査中に発見された城跡で、松林の中に土塁（どるい）や堀が確認され、周辺には城らしい地形もないため、ここが塚原城であろうと推定され、今日に至っています。

現在の塚原館跡は広葉樹が繁茂して木々の間から北浦を望むような景観ですが、築城当時それほど樹木は密集しておらず、しかも台地は急崖をなしているため、城からは迫り来る敵の姿はよく見えたと思われます。城の中心は敵の侵入を防ぐための土塁や堀で囲まれた郭（くるわ）と呼ばれる施設からなっています。

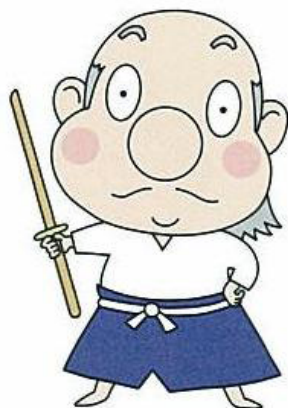
平成 21 年度に塚原ト伝の居城と推定されている塚原館跡の発掘調査が開始されました。塚原館跡は城としては小規模ながら三つの郭が段状に構築され、各郭には土塁が築かれ、外側の郭は深さ 4 m、幅 9.7 m の堀によって守られていることがわかりました。しかも、城の内部は二度にわたって大規模な改修をしていることも確認されました。調査で出土した遺物は陶磁器類や土師質小皿（かわらけ）と呼ばれる素焼きの土器、鉄砲玉、古銭、硯、柱飾り金具等で、時代的には 15 世紀の中頃から 16 世紀の後半のものであることもわかりました。

平成 22 年度には、主郭部分の建物跡の規模と二の郭・三の郭部分の城の構造を確認するための発掘調査が行われました。二の郭の土塁脇からは堀が検出され、周囲から焼土や炭などが見つかっています。また、平成 21 年度に検出された掘立柱建物跡のそばに、壁全体に粘土を貼った水槽のような方形の施設が 2 基確認されました。城の中で生活するのに必要な施設だったと思いますが、類例が少なく今のところ何に使われたのかかわかっていません。

出土した遺物の年代は、塚原ト伝がこの塚原館に養子にきた幼少時代、そして 2 回目の武者修行から帰り、夫婦で暮らしていた時代と重なりますが、塚原ト伝を語るものと断定できるものではなく、この城が塚原ト伝の城かどうかはまだ不明です。



▲ 郭の調査風景



©2008 ぼくでん

※平山城（ひらやまじろ）とは、丘陵等に築城された城のこと